

近代モダニズム再見

<新井ビル「五感北浜本館」>

北浜のビジネス街に華やかな店がある。洋菓子専門店「五感・北浜本館」である。堺筋に面した「新井ビル」の一・二階に、一昨年の春オープンした。入り口の小さな階段を上がると、吹き抜けのアトリウム空間が広がり、甘い香りとともにたくさんの菓子が迎えてくれる。週末も営業することで、北浜がおしゃれな街へと変わってきている。

新井ビルは、大正十一年、河合浩蔵の設計で大日本報徳銀行として建設された。ゼツエーション様式のファサードや茶色のタイルなど当時最先端の流行を取り入れた近代の名建築である。建物に深い愛着をもつオーナーが世代をこえて、手間隙かけて保存に苦労してきたときく。

「五感」代表の浅田美明さんは、東淀川で洋菓子専門店を営むが、百貨店に出店する際この新ブランドを立ち上げた。「大阪銘菓を創りたいと思い始めた時、新井ビルと出会った。北浜の街や建物の雰囲気魅せられ、ここを拠点に大阪ブランドを構築し、街づくりにも貢献したいと考えた」。改修は最低限にとどめ、高い天井、二階の回廊や個室など銀行時代の重厚な雰囲気が残された。自然素材にこだわった

菓子を建築空間とともに贅沢に味わえる、貴重な「場」である。

近代モダニズム再見

<北船場の「英」と「仏」>

北浜の土佐堀川に面して、ひっそりと煉瓦造りの洋館「北浜レトロビル」がたたずむ。

明治四十五年、証券取引業者の建物として竣工。その後、建築資材の商社の本社を経て、平成九年、現在のオーナーである小山寿一さんにより、保存改修工事が行われた。「当初イギリス風に設計された建物をもとの姿に戻してみた。家具やシャンデリア、雑貨など英国で買い付け空間デザインを考えた。」アンティークな雑貨ショップとカフェには、英国のクラシックで優雅な空気が流れる。南向かいの旧大阪証券ビル市場館のファサードも継承され、あわせて近代の金融街の名残を味わえる。

高麗橋では、赤煉瓦のレトロ建築に本格フレンチレストラン「シェ・ワダ」が平成十四年にオープン。明治四十五年竣工で辰野金吾の設計。証券会社の退去後、オーナーが再生方法のコンペを行い和田新平さんのプランを採用した。シェフの和田さんは、外観に昔の面影を大切に残しつつ、内装は床、壁、調度品など、自慢の味を引き立てる空間として徹底的に手を入れた。

明治末の近代建築を活かした「英」と「仏」。北船場では、本

物同士の出会いによって、新しい文化が育まれている。

< 近代モダニズム再見 >
モダンカフェの「名コンビ」

暖簾をくぐると、コーヒーの深い香りに包まれる。カウンターには皿に盛られたドーナツ。「平岡珈琲店」は、船場の真ん中、中央区瓦町に静かにたたずむ。

初代小川忠次郎さんが、大正期に銀座の「カフェ・パウリスタ」で出会った組み合わせがコーヒーとドーナツだった。これを大阪でもと、大正10年、平野町で創業した。昭和五十六年に現在の場所へ移転した。2代目の小川浩さんは「暖簾は大正期から続くもの。商家の証でした。珈琲を飲むと話がはずみ、店がサロンにもなっていた」。

伝統手法で炊き出された濃厚なコーヒーに、お供のドーナツは手作りの懐かしい味。互いが引き立てあう名コンビだ。

7年前から、店内にピクチャーレールと間接照明を取り入れ、壁面をギャラリー空間として提供している。「写真、絵手紙、キルトアートなどお客様の希望で来年まで予定が一杯です。表現の場としても、この店にしかない空気を育てたい」という3代目、清さん。コーヒーのテイクアウトや地方販売、ネットショップ、ブログなど時流にも乗る。

常連客に支えられ、暖簾とカフェ文化が、時代を映しながら船場の街に根付いている。

< 近代モダニズム再見 >
大阪ガスビル

昭和8年3月、工事中の御堂筋に面して「大阪瓦斯ビルディング(通称ガスビル)」が誕生した。地下鉄御堂筋線開通の2ヶ月前のことである。

建築家の安井武雄氏による設計で、白亜の客船を思わせるような美しい幾何学的な造形、3層構造に縦長と横長の窓がそれぞれ連続する独自の外観など、同じ北船場にある同氏設計の「大阪倶楽部」「高麗橋野村ビル」と比較しても味わい深い。

竣工当時のガスビルは、ガス器具の展示場、講演場、美容室、喫茶室、料理講習室、食堂などが充実し、モダンでハイカラな生活提案が大好評を得た。若き日の朝比奈隆氏指揮によるコンサートやエンタツ・アチャコの漫才なども行われた。

8階の「ガスビル食堂」は、窓から御堂筋の向こうに大阪城が見えるほどの展望で、料理長やコックたちが形式にとらわれない独自の「欧風料理」を育て、大阪の洋食の発展に貢献した。平成13年のリニューアルで創業当初の面影を復元し、伝統の人気メニューも継承されている。

近代大阪の象徴として時代を先取り、人々に親しまれてきた

ガスビル。今後も都市生活文化の価値創造や情報発信の拠点として、果たす役割は大きい。